

# 政府の電気料金・都市ガス料金の激変緩和措置の対応について

## 1. 事業概要

政府より、各小売事業者等を通じて、電気・都市ガスの使用量に応じた料金の値引きを行い、急激な料金の上昇によって影響を受ける家庭・企業等を支援する事業を実施いたします。

|              |              | ガス                                  | 電気                           |
|--------------|--------------|-------------------------------------|------------------------------|
| 支援期間         |              | 2023年2月検針分から2024年1月検針分              |                              |
| 支援単価<br>(税込) | 2023年9月検針まで  | 30円/m <sup>3</sup>                  | 低圧: 7円/kWh<br>高圧: 3.5円/kWh   |
|              | 2023年10月検針から | 15円/m <sup>3</sup>                  | 低圧: 3.5円/kWh<br>高圧: 1.8円/kWh |
| 支援対象         |              | 年間契約使用量<br>1千万m <sup>3</sup> 未満の需要家 | 低圧、高圧の需要家<br>※特別高圧は対象外       |

### 支援事業の概要



※詳細は政府の特設サイトをご確認ください。URL: <https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/>

## 2. 値引き方法について

### ① 電気料金の場合

- 燃料費調整単価から支援単価を差し引くことで、電気料金に反映いたします。

#### 【電気料金の計算方法】

$$\text{電気料金} = \text{基本料金 (税込)} + \left( \text{電力量料金単価 (税込)} \times \text{ご使用量} \right) \pm \left( \text{燃料費調整単価 (税込)} \times \text{ご使用量} \right) + \left( \text{再生可能エネルギー促進賦課金単価 (税込)} \times \text{ご使用量} \right)$$

※一部電気料金メニューは計算方法が異なります。

### ② ガス料金の場合

- 原料費調整単価から支援単価を差し引くことで、ガス料金に反映いたします。
- オプション割引がある場合、支援単価を差し引いた上で、割引額を計算します。

#### 【ガス料金の計算方法】

$$\text{ガス料金} = \text{基本料金 (税込)} + \left( \text{ガスご使用量} \times \left( \text{従量料金} \right) \right)$$

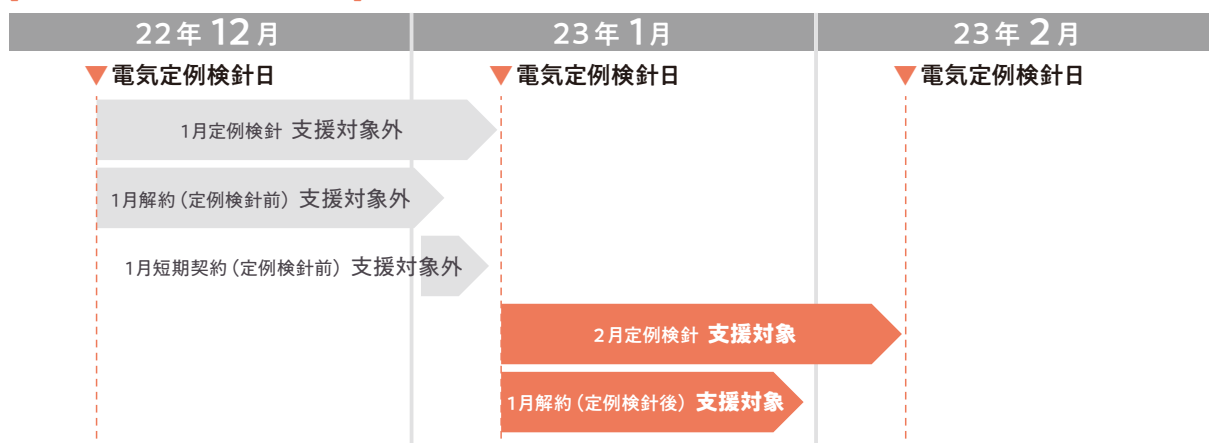
従量料金の計算方法:

$$\text{従量料金} = \left( \text{基準単位料金 (税込)} \pm \text{原料費調整単価 (税込)} \right) \times \text{料金単位}$$

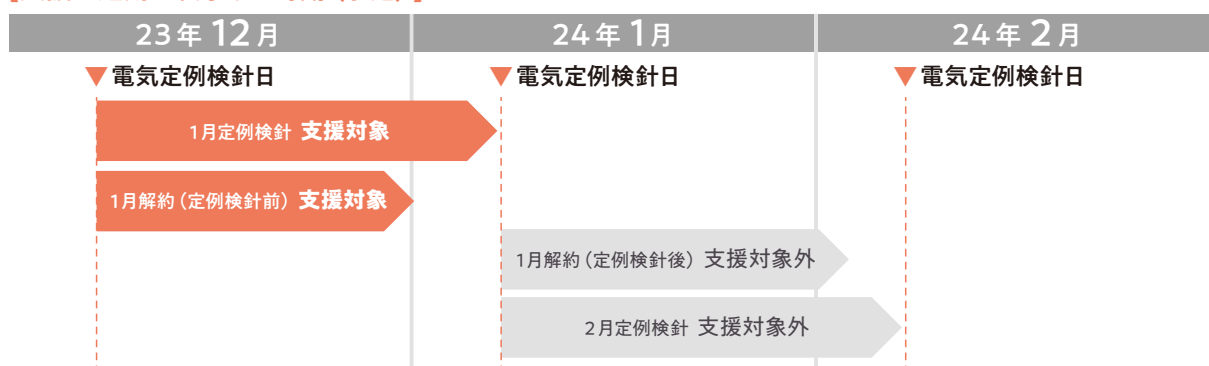
### ▶ 3. 適用期間について

#### 電気料金

##### 【支援の適用が開始される時期】



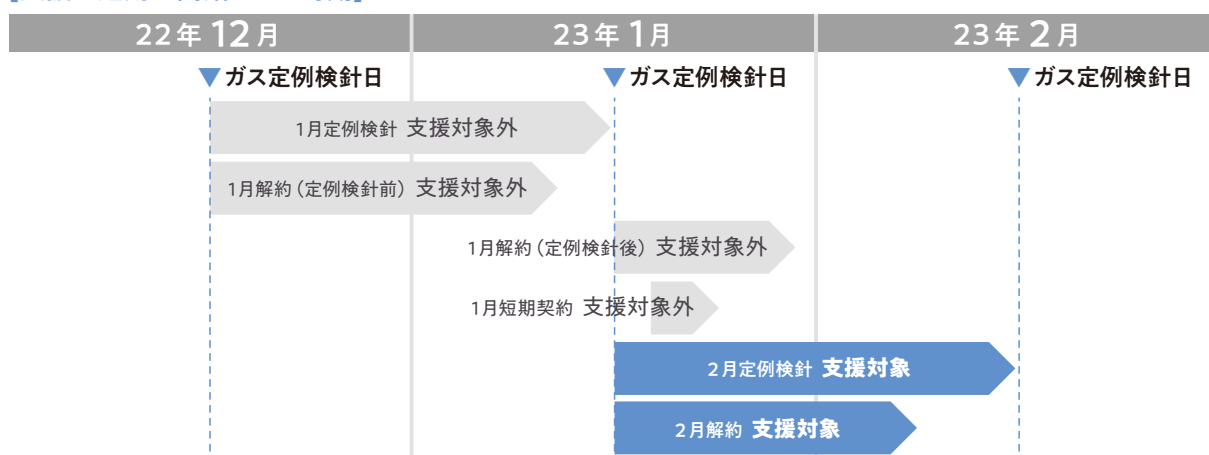
##### 【支援の適用が終了する時期（予定）】



※電気の高圧契約の1日検針のお客さまは、2023年3月検針分から2024年2月検針まで適用（予定）となります。

#### ガス料金

##### 【支援の適用が開始される時期】



##### 【支援の適用が終了する時期（予定）】

